

安永六丁酉

歳旦

越築地

若草亭

松寿

初霧やかに暮る幸しむ

若菜上居並ふ所と如 如翠翠

ゆづりあけし所も水日よありて 東眞

各賀

むさし日のえのひたりと初雪 山長

吉伝やうきく藩代の中男 素流

よろしくあけのまじりや初 以善

水やまもころもけりうさ 好水

考そ免や硯の藝あやう人 里宗

そましくえゆりあり 徳善 大原

及度し百勢りの四方の喜 環中

親多し人もす 初礼者 君一

娘しるの扱く 扱不難 少年 ム多

若菜や葉の傍辺に帆 中三郎 亀睡

之度及む仲るや山も 村三郎 為中

初まや向さし 高心 荷紅

うきむら 東眞 文暁

位しと物 松 文暁

そらや初 六橋 此橋

よろやうし 如翠 如翠

うきむら 梅二

むしか 梅二 梅二

幸橋

よむい

初日のし 初

初日のし 初

水好 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初

初日のし 初